

ラ・ヨローナ ～彷徨う女～ (2018)

LA LLORONA
THE WEeping WOMAN

メディア 映画
ジャンル ドラマ ホラー
製作国 グアテマラ
色彩 Color
時間 97分
初公開日 2020/07/10
公開情報 ギャガ
映倫 G

【解説】

デビュー作「火の山のマリア」で注目されたグアテマラの俊英ハイロ・ブスタマンテ監督が中南米に伝わる怪奇譚“ラ・ヨローナ伝説”をモチーフに、自国の負の歴史を描いた社会派スリラー。主演は「火の山のマリア」のマリア・メルセデス・コロイ。内戦が長きにわたって続いていたグアテマラでも、1980年代初頭の数年間はとくに多くの犠牲者を出した暗黒の時代だった。それから30年が経ち、当時將軍だったエンリケは虐殺を指揮したとして裁判にかけられることに。やがてエンリケは夜な夜な女の泣き声に苦しめられ、メイドたちも次々と屋敷を去っていく。そんな中、新たなメイドとして若くて美しいアルマがやって来るが…。

【クレジット】

監督	ハイロ・ブスタマンテ	Jayro Bustamante
製作	ハイロ・ブスタマンテ	Jayro Bustamante
	グスタボ・マテウ	Gustavo Matheu
	ジョルジュ・ルナン	Georges Renand
	マリーナ・ペラルタ	Marina Peralta
脚本	ハイロ・ブスタマンテ	Jayro Bustamante
	リサンドロ・サンチェス	Lisandro Sanchez
撮影	ニコラス・ウォン・ディアス	Nicolas Wong Diaz
美術	セバスティアン・ムニョス	Sebastian Munoz
衣装デザイン	ソフィア・ランタン	Fofia Lantan
	ベアトリス・ランタン	Beatriz Lantan
編集	グスタボ・マテウ	Gustavo Matheu
	ハイロ・ブスタマンテ	Jayro Bustamante
出演	マリア・メルセデス・コロイ	Maria Mercedes Coroy
	マルガリータ・ケネフィック	Margarita Kenefic
	サブリナ・デ・ラ・オス	Sabrina De La Hoz
	フリオ・ディアス	Julio Diaz
	マリア・テロン	Maria Telon
	アイラ＝エレア・ウルタド	Ayla-Elea Hurtado
	ファン・パブロ・オリスラゲル	Juan Pablo Olyslager